

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本演習は、日本の子どもの福祉と社会的養育の現状・課題を理解し、専門職として子どもや家族を支援するために必要となる資質と人間性の向上および基礎的な実践力を育成することを目標として取り組む専門演習としての2年間の集大成としての卒業研究を完成し、卒業研究発表会に取り組むことを目標とする。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	各自が問題関心に基づく卒業研究に取り組む。また、ゼミ内外でのディスカッションや発表経験を通してプレゼンテーション力を高め、他者の発表を聞き、自分の意見を述べる力も養う。なお、社会状況等により一部のディスカッションをオンライン上で実施するほか、課題提出とフィードバックにおいてオンライン・プラットフォームの活用を図る。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	履修オリエンテーション 夏休みの活動及び研究・開発進捗状況報告	後期履修オリエンテーションを行う。 夏休み以降の進捗状況について報告し合う。	<input type="checkbox"/>
第2回	論文の構成と文献引用ルール 考察と結論	論文の構成と文献の引用ルールについての指導を行う。 論文の考察と結論の示し方について指導する。	<input type="checkbox"/>
第3回	卒業研究中間発表準備	卒業研究中間発表会に向けた準備と指導を行う。	<input type="checkbox"/>
第4回	卒業研究中間発表会	4年生合同で開催される卒業研究中間発表会に参加する。	<input type="checkbox"/>
第5回	卒業研究の作成と個別指導①	卒業研究の作成作業と個別指導①を行う。	<input type="checkbox"/>
第6回	卒業研究の作成と個別指導②	卒業研究の作成作業と個別指導②を行う。	<input type="checkbox"/>
第7回	卒業研究第一次提出と講評	卒業研究成果物の第一次提出をさせ、それぞれの講評をする。	<input type="checkbox"/>
第8回	卒業研究の加筆訂正と個別指導③	卒業研究の作成作業と個別指導③を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	卒業研究の加筆訂正と個別指導④	卒業研究の作成作業と個別指導④を行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	卒業研究提出期限	卒業研究作成作業を終え、成果物を提出させる。	<input type="checkbox"/>
第11回	卒業研究最終指導	提出された成果物に対する最終指導を実施する。	<input type="checkbox"/>
第12回	卒業研究の完成報告	卒業研究を完成させ、成果物をすべて提出させる。	<input type="checkbox"/>
第13回	要旨の完成と提出 卒業研究発表会準備	完成した卒業研究の要旨を作成して提出させる。卒業研究発表会の準備に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第14回	卒業研究発表・プレゼン指導	卒業研究発表会の準備を完成し、発表・プレゼンテーションのリハーサルを行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	卒業研究発表会	卒業研究発表を行う。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習として卒業研究テーマに関連する専門的知識等及び先行研究の収集等を2時間行い、対面またはオンライン上で指導を終えた後に研究計画書・卒業論文等を作成してオンライン・プラットフォームに提出する事後学習を2時間、合計4時間以上の予習・復習を実施する。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

研究計画書や卒業研究関連課題のフィードバックは授業時間内に対面で実施する他、卒業研究に関するフィードバックはオンライン・プラットフォームやメールを活用して行う。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	卒業研究と発表を通して小学校教員・幼稚園教員・保育士になるための資格に必須の知識と基礎的・実践的な技能を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	卒業研究と発表を通して現代の福祉・教育現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い思考力・判断力を習得できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	卒業研究と発表を通して小学校・幼稚園・児童福祉施設等での教育・養護・保育に主体的協働的に携わることができる幅広い人間力を体得できる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 調査、分析、プレゼンテーション、取り組み姿勢から評価する				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	社会科学系論文の書き方 明石 芳彦 著	9784623083794
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		